

CL-2400用 簡易モニタプログラム

Ver 1.01
Copyright (C) 2005 ONO SOKKI CO.,LTD

○概要

パソコンと小野測器製非接触厚さ計(CL-2400)との間でRS-232Cを使用してデータ通信を行い、取り込んだ測定データをExcel上に表示します。変換コネクタを用いることにより、USBでの通信も可能です。

1sに1回の間隔で表示を更新します(この間隔は設定により可変です)。

データを取得する通信コマンドは、「MDR」です。

CL-2400の表示データと開始からの経過時間をExcel上でモニタ表示します。

通信速度は、9600bpsで固定とし、ポート番号は画面上で選択します。

計測開始と終了の設定も行います。(CST、CSPコマンド)

ExcelVBAを使用して作成していますので、特殊な環境を用意する必要がありません。ファイル名は「CL2400.xls」です。

WindowsXP(SP1)、Excel2000で動作確認を行っています。

○操作方法

- 1 : パソコンとCL-2400をRSケーブル(クロス)で接続します。
- 2 : CL-2400の通信速度を9600bpsに設定します。
- 3 : CL2400.xlsを起動します。
- 4 : 通信に使用するポート番号(Port)と通信間隔(Interval)、取得データを(Data)画面上で選択します。
- 5 : Startボタンを押すと、通信が開始され、測定がスタートし、データがセル上に表示されます。
- 6 : Stopボタンを押すか、シート上をダブルクリックすると、通信が停止します。このとき、測定がストップします。

※ 必要に応じて、事前に「Setting」Sheetで初期値を設定してファイルを保存してください。

※ ポートのオープン/クローズは、StartButton/StopButtonのタイミングで行います。

○注意

このプログラムは、EasyComm Version 1.86を使用しています。
EasyCommは木下氏(<http://www.activecell.jp>)作成のフリーツールです。
作者の提示する条件に同意した場合のみ、使用することが出来ます。
EasyComm Version 1.86については、作者のホームページをご覧ください。

このプログラムはフリープログラムです。
このプログラムを改造、あるいは一部を複製して利用することは、商用に用いない場合に限って自由ですが、ご自身の判断で行っていただく必要があります。
また、このプログラムを使用して生じた損害等につきましては、弊社では責任を負いませんので、ご承知の上ご利用ください。

○モニタ画面の説明

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	Time	Data								
2	s	mm								
3	1	0.0015				Start	Stop	Clear		
4	2	0.0015								
5	3	0.0015								
6	4	0.0015								
7	5	0.0014				Port	Com1			
8	6	0.0015				Interval	1s			
9						Data	THICK			
10						<input type="checkbox"/> Overwrite Mode				
11						<input checked="" type="checkbox"/> Scroll Row				
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										

□ コントロールの説明

Port	通信に使用するポート番号をCOM1～COM9から選択します。 初期値は「Setting」Sheetで設定します(初期状態はCOM1)。
Interval	モニタを更新する間隔を「1s～10s」から選択します。 初期値は「Setting」Sheetで設定します(初期状態は1s)。
Overwrite Mode	チェックをすると、データは常に3行目に表示されます。 チェックをはずすと、3行目から表示を始めて、1行ずつ下へ移動します。最大で65536行まで移動します。
Data	CL-2400から取得するデータを「THICK ,GAPA ,GAPB」から選択します。 初期値は「Setting」Sheetで設定します(初期状態はTHICK)。
Scroll Row	Overwrite Modeをチェックしていない場合、データがシート内に表示しきれなくなったら、行をスクロールします。
Start Button	クリックすると、計測開始処理(CST)を送信してから、モニタを開始します。
Stop Button	モニタ中にクリックすると、モニタを停止します。 このとき、計測終了処理(CSP)を送信します。 シート上をダブルクリックしても、モニタは停止します。
Clear Button	クリックすると、モニタ表示したデータを消去します。

□ シートの説明

- 1行目と2行目はコメント行です。
通常は、1行目にデータ名称、2行目に単位を記入します。
初期値は、「Time,Data」「s,mm」です。
- CL-2400から表示データを読み込み、1列目に時間を、2列目に測定データをモニタ表示します。

○初期値の設定

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	Initial Setting											
2												
3	Port	1	(1:Com1, 2:Com2, 3:Com3, 4:Com4, 5:Com5, 6:Com6, 7:Com7, 8:Com8, 9:Com9)									
4	Interval	1	(1~10s)									
5	Data	1	(1:THICK, 2:GAPA, 3:GAPB)									
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												

初期値の設定は「Setting」Sheetで行います。
ファイルを起動した際は、ここで設定した値が画面（「Monitor」Sheet）に表示されます。
必要に応じて太枠の中を設定して保存しておきます。

Port	通信に使用するポートを「1:Com1～9:Com9」から選択して、太枠の中に記入します。 初期状態は「1」(Com1)になっています。
Interval	モニタの間隔（CL-2400との通信間隔）を「1～10」秒の範囲で太枠の中に記入します 初期状態は1(s)となっています。
Data	CL-2400から取得するデータの初期値を「1:THICK 2:GAPA 3:GAPB」から選択して、太枠の中に記入します。 初期状態は「1」(THICK)となっています。

※ ここで設定する値はあくまでもファイルを開いた際の「初期値」ですので、「Monitor」Sheetで値を変更した場合は、変更後の値が有効になります。

○使用コマンド

MDR	測定データを読み出す
CST	計測を開始する
CSP	計測を終了する

コマンドの詳細につきましては、CL-2400の取扱説明書をご覧ください。

○更新履歴

V1.01	1.01-1	Monitor画面のウィンドウ枠を固定するように変更
	1.01-2	EasyCommをVer.1.86にバージョンアップ